

# RFT2-E型

## 仕様表

型番		RFT2-9500E	RFT2-12000E	
給気風量範囲	m <sup>3</sup> /h	7600~10450	9600~13200	
	m <sup>3</sup> /min	126.7~174.2	160.0~220.0	
放熱空気風量	m <sup>3</sup> /h	17500	22000	
	m <sup>3</sup> /min	291.7	366.7	
再熱器		ホットガス方式		
2ウェイ回路		対応品		
冷媒		R407C		
電源		三相 200V 50/60Hz		
給気側ファン	タイプ		両吸込多翼形	
	駆動方式		ファン・モータ直結式 インバータ駆動	
	モータ	タイプ	全閉外扇形	
		出力(kW)	7.5	7.5
	消費電力	kW	4.84	6.11
機外静圧	Pa	500	500	
放熱側ファン	タイプ		プロペラ形	
	駆動方式		ファン・DCモータ直結式 ON-OFF制御	
	モータ	タイプ	全閉形	
		出力(kW)	0.7×2	0.7×2
消費電力	kW	1.3	1.6	
熱交換コイル		10Φ相当楕円銅管・高性能アルミフィン		
加湿器		気化式加湿器		
エアフィルタ	プレ	質量法70%		
	メイン	中性能フィルタ(比色法65%)		
制御装置	本体	圧縮機容量2段階制御、実績データログ、自己診断ログ		
	インターフェイス	通信ポート(RS-485)、運転状態出力、異常出力 給気ファン運転状態出力、外部運転入力		
保護装置	冷媒回路	高圧圧力開閉器、低圧圧力開閉器 圧縮機吐出温センサ、過負荷継電器		
	ファン	インバータ電子サーマル、ヒートシンクサーモスタット		
ケーシング	外装板	ガルバリウム鋼板・サンドイッチパネル(給気側のみ)		
	ドレンパン	ステンレス鋼板		
騒音レベル	dB	62	64	
質量(kg)	フード	40	45	
	本体	1520	1610	

- 消費電力は上記仕様表の場合を示し、給気側ファンの消費電力は0A型の場合を示します。
- 仕様は給気風量が型番数値の場合を示します。
- 騒音レベルは0A型の場合を示し、機体より1.5m、高さ1.0mで吐出音の影響無し(吸込音は含む)での算術値です。
- 電源配線・機器容量はP45をご参照ください。
- スイッチの温度設定、湿度設定はRA、MA型のRCモードのみです。
- 本製品は法定冷凍能力20トン未満のため、高圧ガス保安法に基づく製造届および許可申請は不要です。
- 本製品を長く安心してお使いいただくためには定期的な保守・点検が必要です。  
各製品の点検・保全周期については日本冷凍空調工業会発行の保守・点検ガイドラインを参考にしてください。

# RFT2-E型

## ■運転パターン参考値(RFT2-E-OA型)

吸込温度(°C)	-6	-4	-2	0	2	4	6	8	10	12	14
<運転モード>	加熱運転										
<給気温湿度>	4.2°C	7.6	9.9		14.0	16.6	18.6		15.6	18.5	
	61%	59%	53%		52%	48%	47%		55%	55%	
<給気風量>	100%										
<容量制御>	100%									50%	
<気化式加湿器>	運転										

吸込温度(°C)	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40	
<運転モード>	外気冷房運転			除湿・再熱運転					冷却運転						
<給気温湿度>	14.0°C		20.0	13.8	16.6	19.5		17.8	20.8	24.0		25.2	25.6		
			16.3 (80%)	19.8	20.6 (70%)	24.9				95±3%					
<給気風量>	100%			50%					100%						
<容量制御>	0%			50%		100%			100%						
<気化式加湿器>	停止														

- 給気風量型番数値、標準運転パターンのときを示します。
- 加熱運転 吸込温湿度条件  
外気：DB<0°CのときRH=80%、0≤DB≤5°CのときRH=60%、DB>5°CのときRH=50%
- 冷却運転 吸込温湿度条件  
外気：DB≤36°CのときRH=69%、36°C<DB<39°CのときRH=60%、DB≥39°CのときRH=50%
- 除湿再熱運転 吸込湿度条件 外気：RH=85%
- 加熱は50Hz、冷却は60Hzを示します。

- 備考
1. 外気吸込温度が-6°Cより低い場合は使用できません。
  2. 運転パターンを変更したい時は予めご指示ください。
  3. 加熱運転時、給気が設定温度に達してから加湿を開始します。
  4. 加熱・送風運転時(送風モードは除く)、外部信号入力による気化式加湿器のON-OFFも可能です。
  5. 着霜時には圧縮機保護のため給気温度は低下します。
  6. RFT2-E-OA型は外気処理専用機であり、室温は室内機にて調整してください。
  7. 使用条件により冷却・加熱運転範囲でも送風運転となることがあります。

## ■使用環境

	外気・周囲条件	還気条件
乾球温度(DB)	-6~+40°C	+5~+33°C
湿球温度(WB)	+31°C以下	+25°C以下
相対湿度(RH)	35~90%注1)	35~90%

供給電圧
定格電圧
環境
標高1000m以下 腐食性、爆発性ガスのないこと 粉塵、油分が特にひどくないこと

注1)加熱・暖房時はRH=28~90%

注2)本体内通過空気との温度差が大きいたときは、表面に結露する場合があります。